



信州健康ゼロエネ住宅助成金の申請受付を開始します！

住宅分野における2050ゼロカーボンを実現するため、環境への負荷が少なく、高い断熱性能を有し、県産木材を活用した住宅に助成する「信州健康ゼロエネ住宅助成金」を本年度新設し、この度、申請受付を開始しますので、ぜひご活用ください。

信州の木の香る、あたたかく快適な住まいで、健康・エコに暮らしましょう！

■募集期間

令和4年5月16日(月)から令和5年2月15日(水)まで

※今回募集を開始するものは、今年度申請し、年度内に工事完了するものを対象としています。

※令和4年度中に申請し、令和5年度に工事完了する分については、別途お知らせします。

■助成金の概要

	新築タイプ	リフォームタイプ
助成金額	50～150 万円 ※対象住宅により異なります。	最大 100 万円 ※工事費の20%以内で工事内容により異なります。
助成対象工事	以下の要件を満たす住宅の新築工事 ① 省エネ性能が最低基準に適合 ※ゼロエネルギー達成に向けて最低限確保すべき基準です。 ② 県産木材を使用 (3㎡以上又は仕上げ材として30㎡以上) ③ 県内に主たる事務所を置く者が施工 ④ 再生可能エネルギー設備等を設置 ※①～④は主なもの。(他要件あり) 【基本額：50万円】 ただし、再生可能エネルギー設備等を設置しない場合は40万円 ※その他の要件による加算があります。 【加算額：10～100万円】	以下の①～③のいずれかの要件を満たす県内に主たる事務所を置く者が施工する住宅のリフォーム工事 ① 住宅部分全体を最低基準に適合する断熱改修 ② 10㎡以上を断熱改修し、建具の断熱性能を確保 (「浴室と脱衣室」又は「寝室」) ③ 住宅部分のすべての窓の断熱改修 ※その他の要件による加算があります。
募集件数	新築タイプ：約 200 件 ※募集件数は目安であり、助成対象の決定状況に応じて増減があります。	リフォームタイプ：約 200 件

■助成制度の詳細・申請書類

長野県ホームページからダウンロードしてください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kenchiku/kenkozzeroene/joseikin.html>

■書類提出・問い合わせ先

対象住宅の所在地を管轄する建設事務所の建築担当課

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、郵送での書類の提出にご協力ください。



2050ゼロカーボンを目指す長野県のシンボルマークです

建設部 建築住宅課 建築企画係
(課長)塩入 一臣 (担当)郡司 亮
電話 026-235-7339(直通)
026-232-0111(代表) 内線 3651
FAX 026-235-7479
E-mail kenchiku@pref.nagano.lg.jp

地域の工務店で建てる、環境に優しく
あたたかな住まいで、健康・快適に暮らしませんか。

令和4年度

信州健康ゼロエネ住宅助成金

長野県では、住宅分野における2050ゼロカーボン実現に向け信州健康ゼロエネ住宅指針^{※1}の基準に適合し、県産木材^{※2}を活用した住宅を新築する場合に、**最大150万円**を助成します。

断熱効果を高めることで、冬あたたかく夏涼しい快適な住まいとなるだけでなく、ヒートショックが予防され健康にやさしく、また光熱費が少ないエコな暮らしとなります。

助成対象者

県内で自己の居住用に
対象住宅を新築する方

助成対象住宅

基本項目のすべてに
適合する住宅

助成金額

基本額50万円に、選択項目に該当する項目の数に応じて加算(最大合計150万円)
ただし、地域条件等により9の設置をしない場合は基本額40万円(最大合計80万円)

助成要件

基本項目	選択項目		
1～9に適合する場合に、 50万円 を助成 (ただし、地域条件等により9の設置をしない場合は40万円)	①～⑤のいずれかの要件に該当する場合は、右欄に掲げる額を加算		
1 一戸建ての木造住宅 (又は店舗等の床面積が1/2 未満の店舗等併用住宅) 2 住宅部分の床面積が75～280㎡ 3 県内に主たる事務所を置く者が施工 4 一般向けの住宅見学会を実施 ^{※3} 5 住宅部分が最低基準 ^{※4} に適合 6 建築用材として県産木材を3㎡以上又は仕上材として30㎡以上使用 7 耐震性能(建築基準法施行令第46条に定める壁量の1.25倍) 8 災害危険区域 ^{※5} 及び土砂災害特別警戒区域 ^{※6} の範囲外 9 再生可能エネルギー設備等 太陽光発電システム(システム容量3kWh以上又は木質ペレットストーブ・薪ストーブ)を設置 ^{※7}	要件	加算額	
	①	住宅部分が推奨基準 ^{※8} に適合	20万円
		住宅部分が先導基準 ^{※9} に適合	40万円
	②	県産木材を 0.12 ～ 0.16 ㎡ / ㎡使用	10万円
		県産木材を 0.16 ㎡ / ㎡以上使用	20万円
③	伝統技能 (左官仕上げ壁、国産瓦ぶき、県内業者製作の木製建具及び 畳のうちいずれか2つ以上)を活用	10万円	
④	再生可能エネルギー設備等(太陽熱利用給湯システム (集熱面積4㎡以上)又は蓄電池(蓄電容量4kWh以上))を導入	10万円	
⑤	県が定めるゼロエネルギー ^{※10} 達成	20万円	

※1 信州の恵まれた自然環境と森林資源を生かした快適で健康な「信州健康ゼロエネ住宅」の普及を促進し、その建築手法等を提示するために策定したものです。

※2 信州木材認証製品として認証を受けた木材又は県内で産出されたことが証明できる木材が対象となります。

※3 普及啓発を目的として見学会を実施していただくほか、長野県公式ホームページにて事例紹介をさせていただきます。
(個人が特定されない内容のみ。交付申請書をご確認ください。)

※4 ゼロエネルギー達成に向けて最低限確保すべきものとして知事が定める基準(外皮性能及び一次エネルギー消費量)

※5 建築基準法第39条第1項の規定により指定された区域

※6 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律第9条第1項の規定により指定された区域

※7 地域条件等により設置をしない場合を除きます。この場合、基本額は40万円となります。(最大合計80万円)

※8 環境負荷の低減と快適性を高次元で達成するものとして知事が定める基準(外皮性能及び一次エネルギー消費量)

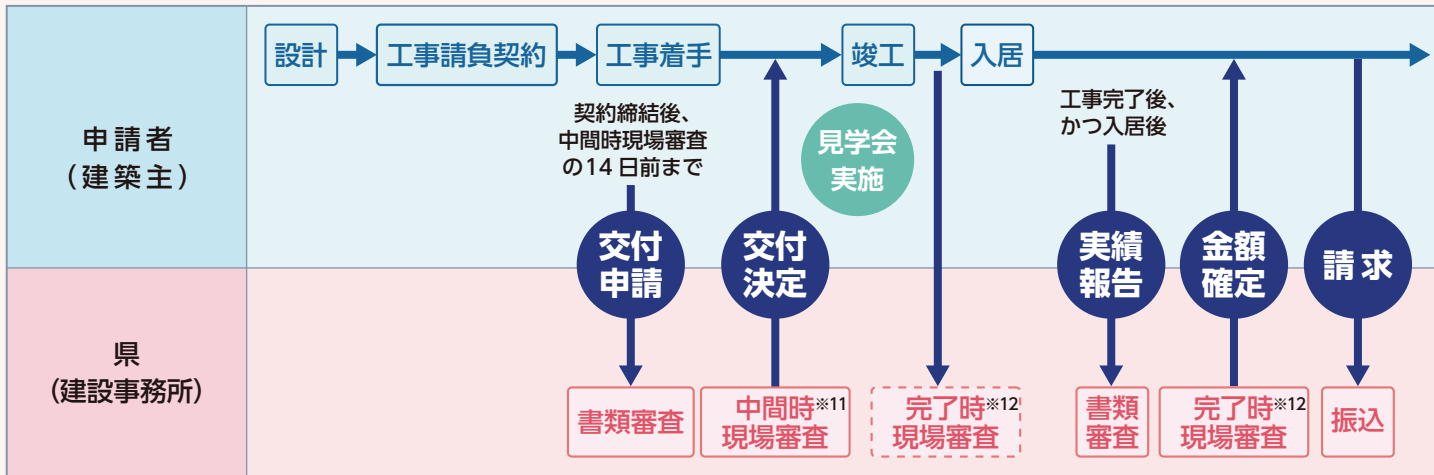
※9 環境負荷を極限まで抑えるチャレンジをするものとして知事が定める基準(外皮性能及び一次エネルギー消費量)

※10 太陽光発電設備による創エネルギーのほか、木質バイオマス暖房設備による暖房エネルギーの低減を考慮してエネルギー計算をした結果、正味ゼロエネルギーを達成することをいいます。

◎ 詳細は「[信州健康ゼロエネ住宅助成金交付要綱](#)」、「[信州健康ゼロエネ住宅助成金交付取扱要領](#)」をご確認ください。

「こどもみらい住宅支援事業」、「地域型住宅グリーン化事業」など、国が実施する事業や他の国庫補助事業等との併用はできません。

申請手続きの流れ



※11 中間時現場審査は、交付申請に基づき、屋根工事、断熱工事及び気密工事が概ね完了し、かつ、造作工事、内外装工事等により断熱工事及び気密工事に係る部分が覆われる前に行います。

※12 完了時現場審査は、すべての工事が完了したときに行います。原則として、入居後の実績報告に基づいて行いますが、実績報告に先立って受けたい場合（入居前に実施したい場合など）は、完了時現場検査実施依頼書の提出により、あらかじめ受け付けることができます。

募集期間

[いずれも、令和4年度中に中間時現場審査を実施し、交付決定するものが対象]

	第1期	第2期
募集期間※13	令和4年5月16日～令和5年2月15日	令和4年11月1日～令和5年3月15日
事業完了※14の時期	～令和5年3月31日	令和5年4月1日～令和6年3月31日

※13 先着順で助成対象を決定し、予算額に達した時点で募集を終了します。

※14 助成対象住宅を新築する工事が完了し、かつ、当該住宅に居住を開始したとき（当該住宅の所在地に住所を変更したとき）が事業完了の日となります。

申請書類

申請書類の様式はホームページからダウンロードできます。また、添付書類の一覧も掲載しています。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kenchiku/kenkozeroene/joseikin.html>

信州健康ゼロエネ住宅



申請・お問い合わせ先

申請対象の住宅の所在地を管轄する建設事務所の建築担当課が受付窓口です。

名称	電話番号	名称	電話番号
佐久建設事務所建築課	0267-63-3160	木曾建設事務所整備・建築課	0264-25-2229
上田建設事務所建築課	0268-25-7142	松本建設事務所建築課	0263-40-1935
諏訪建設事務所建築課	0266-57-2923	大町建設事務所整備・建築課	0261-23-6524
伊那建設事務所建築課	0265-76-6830	長野建設事務所建築課	026-234-9530
飯田建設事務所建築課	0265-53-0468	北信建設事務所建築課	0269-23-0220

関連する取組のご案内

信州木材認証製品（信州木楽ネット）

信州木材認証製品センター
（電話 026-226-1471）
県産木材の活用に取り組む林業者、取扱店、工務店、設計事務所等の情報を提供しています。

ECOCO（長野県産材 CO₂固定量認証制度）

長野県林務部信州の木活用課
県産材利用推進室
（電話 026-235-7266）
認証証書の発行を受けた住宅は、住宅ローンの金利優遇の対象となる場合があります。



信州 ACE（エース）プロジェクト

長野県健康福祉部健康増進課
（電話 026-235-7112）
世界で一番の健康長寿を目指して、健康づくり県民運動を展開しています。



信州健康ゼロエネ住宅助成金の
詳しい情報はこちら

長野県建設部建築住宅課建築企画係

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下 692-2
電話 026-235-7339 FAX026-235-7479
電子メール kenchiku@pref.nagano.lg.jp
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kenchiku/kenkozeroene/joseikin.html>



令和4年度

信州健康ゼロエネ住宅助成金

長野県では、対象工事費の**20%**まで、最大**100万円**を助成し、**住宅の性能向上リフォームを推進**しています。(部分改修の場合は最大50万円)

対象工事は省エネルギー化、バリアフリー化、県産木材使用、再生可能エネルギー設備等の導入、伝統技能を活用する工事など。

冬の寒さは快適性、健康性に悪影響があり、脱衣・入浴時と就寝・起床時は特に影響が大きいといわれます。

助成金をうまく活用してリフォームし、快適・健康に暮らし、住宅を長く大切に使いましょう。



助成対象者

住宅をリフォームする方で、**県内に居住する方**
又は、**県内に移住する方**



助成対象住宅

次の**いずれにも**該当する住宅

(住宅部分が1/2以上の店舗等併用住宅を含む)

- 県内に所在する住宅 ● 申請者が自ら居住する住宅
- 再生可能エネルギー設備等の導入について検討を行ったもの



助成額・助成対象工事

助成対象工事 **必須** 県内事業者が施工する①又は②のいずれかのリフォーム工事

- ① **大規模改修** 住宅部分を信州健康ゼロエネ住宅指針^{*1}の最低基準(外皮性能及び一次エネルギー消費量)に適合させる断熱改修
- ② **部分改修^{*2}** ア又はイのいずれかを実施

ア 浴室及び脱衣室又は寝室について

外気等に接する壁、床、天井又は屋根の見付面積10㎡以上の部分を断熱改修(改修部分の合計面積で可)

かつ、外気等に接するすべての建具の断熱改修(すでに断熱性能がある建具の改修は不要)

イ 住宅部分の外気等に接するすべての窓の断熱改修

^{*1} 信州の恵まれた自然環境と森林資源を生かした快適で健康な「信州健康ゼロエネ住宅」の普及を促進し、その建築手法等を提示するために策定したものです。

^{*2} 断熱性能の基準は建築物省エネ法の仕様基準(平成28年国土交通省告示第266号)を引用

助成額 次の金額のうち最も小さい額(1,000円未満切捨て)

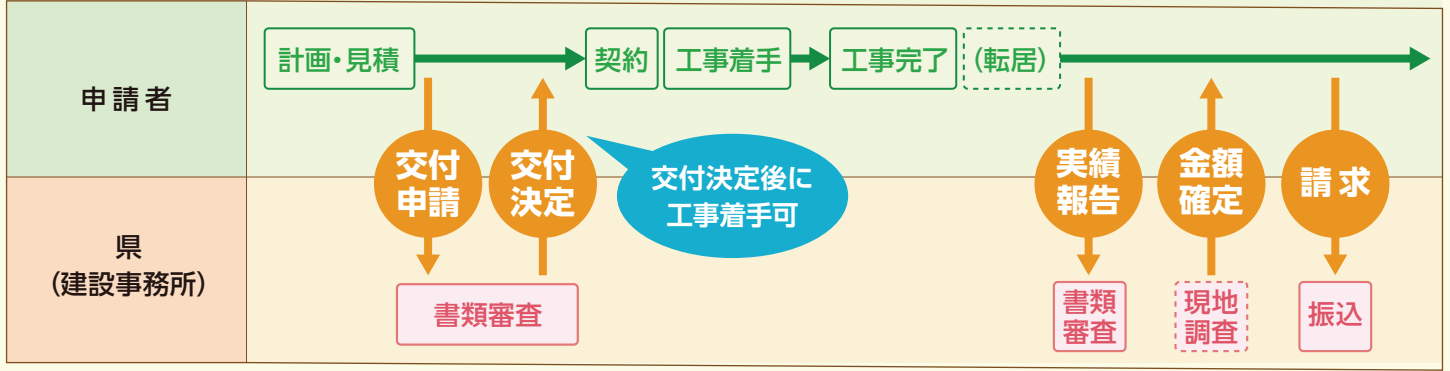
- 工事内容に応じた下表の金額の合計額
- 対象工事費の20%
- 100万円(大規模改修) 又は50万円(部分改修)

区分	対象工事等	助成単価
断熱改修	外気等に接する壁、床、天井又は屋根の断熱改修	2,000円/㎡
	外気等に接する建具の断熱改修	15,000円/箇所
バリアフリー	床の段差を解消(勾配1/12以下のスロープ設置)	2,000円/箇所
	出入口の幅を拡張(通行上有効な幅を750mm以上確保)	10,000円/箇所
	便器の取り替え(和式から洋式に)	50,000円/箇所
	便所又は浴室の面積を拡大 便所: 内法1,100×1,300mm 又は、洋式便器と前方・側方の壁の距離500mm 浴室: 短辺内法1,400mmかつ内法面積2.5㎡	50,000円/箇所
県産木材	仕上げ用板材又は合板を使用	2,000円/㎡
	仕上げ用板材又は合板以外の材を使用	5,000円/㎡
再生可能エネ	木質ペレットストーブ・薪ストーブ又は集熱面積4㎡以上の太陽熱利用給湯システムを導入	100,000円
伝統技能	左官仕上げ壁、国産瓦ぶき、県内業者製作の木製建具及び畳のうちいずれか2つを活用	100,000円

◎ 詳細は「信州健康ゼロエネ住宅助成金交付要綱」、「信州健康ゼロエネ住宅助成金交付取扱要領」をご確認ください。

「こどもみらい住宅支援事業」、「長期優良住宅化リフォーム推進事業」など、国が実施する事業や他の国庫補助事業等との併用はできません。

申請手続きの流れ



募集期間

	第 1 期	第 2 期
募集期間※3	令和4年5月16日～令和5年2月15日	令和4年12月1日～令和5年3月15日
工事完了※4の時期	～令和5年3月31日	令和5年4月1日～令和6年3月31日

※3 先着順で助成対象を決定し、予算額に達した時点で募集を終了します。

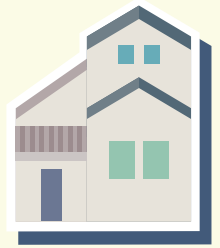
※4 いずれも、R4年度中に着手するリフォームが対象です。

申請書類

申請書類の様式はホームページからダウンロードできます。また、添付書類の一覧も掲載しています。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kenchiku/kenkozeroene/joseikin.html>

信州健康ゼロエネ住宅 🔍 検索



申請・お問い合わせ先

申請対象の住宅の所在地を管轄する建設事務所の建築担当課が受付窓口です。

名称	電話番号
佐久建設事務所建築課	0267-63-3160
上田建設事務所建築課	0268-25-7142
諏訪建設事務所建築課	0266-57-2923
伊那建設事務所建築課	0265-76-6830
飯田建設事務所建築課	0265-53-0468

名称	電話番号
木曾建設事務所整備・建築課	0264-25-2229
松本建設事務所建築課	0263-40-1935
大町建設事務所整備・建築課	0261-23-6524
長野建設事務所建築課	026-234-9530
北信建設事務所建築課	0269-23-0220

関連する取組のご案内

住宅・建築物耐震改修総合支援事業

長野県建設部建築住宅課指導審査係(電話026-235-7335)

住宅の耐震診断・耐震改修の支援をしています。

リフォームタイプ(部分改修)との併用が可能です。

ECOCO(長野県産材 CO₂固定量認証制度)

長野県林務部信州の木活用課県産材利用推進室

(電話026-235-7266)

木の家は第2の森林。

環境にやさしい住宅としてPRできます。



信州木材認証製品(信州木楽ネット)

信州木材認証製品センター(電話026-226-1471)

県産木材の活用に取り組み林業者、取扱店、工務店、設計事務所等の情報を提供しています。

信州 ACE(エース) プロジェクト

長野県健康福祉部健康増進課

(電話026-235-7112)

世界で一番の健康長寿を目指して、

健康づくり県民運動を展開しています。



既存住宅エネルギー自立化補助金

長野県環境部環境政策課ゼロカーボン推進室(電話026-235-7179)

住宅に蓄電池の設置し、太陽光パネルと組み合わせ「エネルギー自立」を目指す方を支援します。リフォームタイプとの併用が可能です。

信州健康ゼロエネ住宅助成金の
詳しい情報はこちら

長野県建設部建築住宅課建築企画係

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2

電話026-235-7339 FAX026-235-7479

電子メール kenchiku@pref.nagano.lg.jp

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kenchiku/kenkozeroene/joseikin.html>



あったか、健康、安心な 信州の住まい

～信州健康ゼロエネ住宅～

地球にやさしい 人にやさしい

人間社会の存続を脅かす地球温暖化を止めるために
あなた自身が快適で健康的な毎日を送るために
次の世代の子どもたちの未来を守るために
今、住まいづくりを考えましょう

長野県知事 阿部 奇一



信州健康ゼロエネ住宅 4つのメリット

光熱費が安い

- ・月々の支払いがお得
(住宅ローン+光熱費)



健康で快適

- ・血圧の安定
- ・ヒートショック防止
- ・アレルギー抑制
- ・体感温度の向上



災害にもしなやか

- ・高い耐震性能
- ・停電時にも電気が使える



豊かな暮らしを実現

- ・県産木材の温もり
- ・地域とのつながり
- ・景観との調和



健康ゼロエネ住宅の必要性

■ 温暖化への対応

令和元年東日本台風（台風第19号）により、千曲川の堤防が決壊、多くの家屋が浸水するなど、県内各地に甚大な被害がありました。この台風は、**地球温暖化の影響**で、台風の勢力が強くなっていったことが指摘されています。

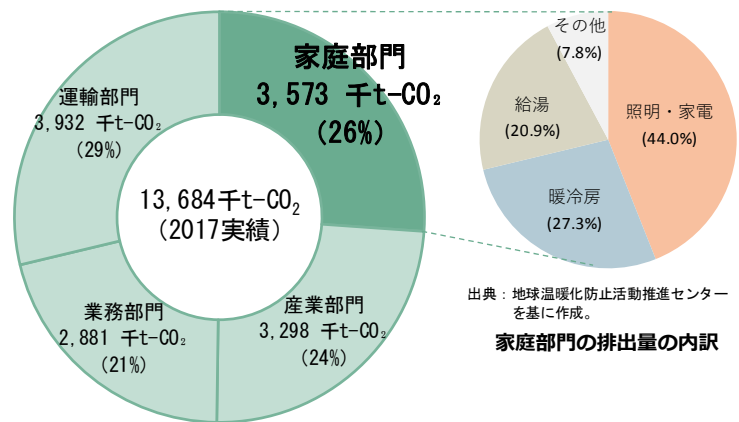


氾濫した千曲川

世界の気温上昇を**1.5℃**以内に抑えなければ、豪雨の頻度の増加や食料不足など、人々や生態系にとって深刻で広範囲にわたる元には戻れない影響が生じることが示されています。

今後10年間の取組が人類の未来を決定すると言われており、次の世代のためこの**10年の取組は極めて重要**です。

長野県における二酸化炭素の**26%**は、**家庭から排出**されており、これらを削減していくことが必須です。

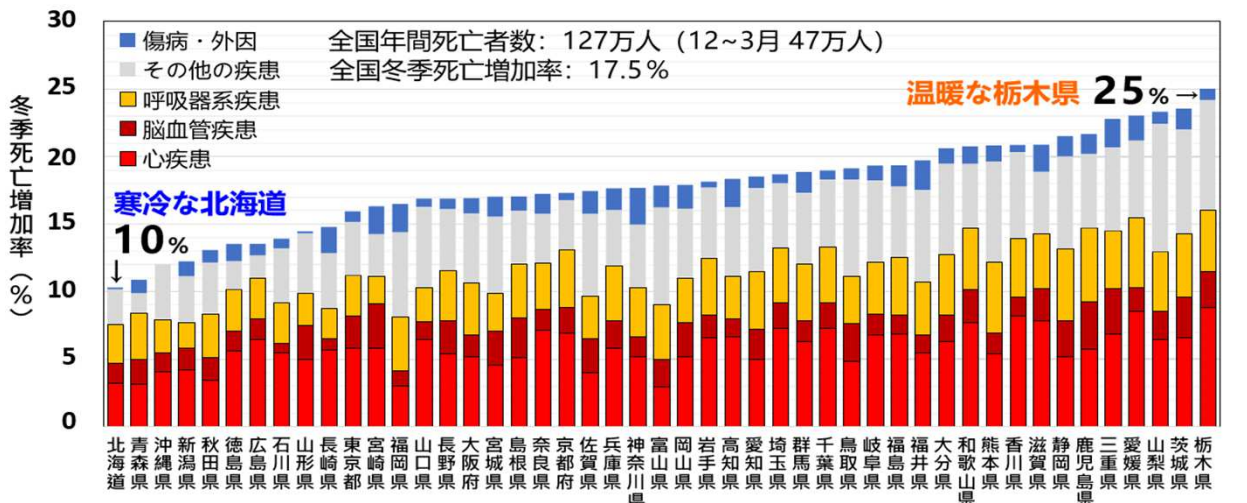


出典：「長野県環境エネルギー戦略 2019（令和元）年度 進捗と成果報告書」を基に作成。

■ 健康への影響

冬季死亡率は意外にも、寒冷な**北海道が最低**であるという調査結果が示されています。

住まいの**高断熱化**が普及している地域での冬季死亡率が少ない傾向にあり、国の調査においても**健康状況に与える効果**（主な効果はP5を参照）が明らかにされつつあります。



厚生労働省：人口動態統計（2014年）都道府県別・死因別・月別からグラフ化 国資料より

地球環境と人にやさしく、快適で健康的な毎日を送るために、
長野県では「信州健康ゼロエネ住宅」を強くおすすめします！



信州健康ゼロエネ住宅の概要

信州健康ゼロエネ住宅は、**高い断熱性能を有し**、信州の恵まれた**自然環境と森林資源**を活かし、**エネルギー使用量を実質ゼロ**にするなど、これからの時代を真剣に考えた、**人と環境にやさしい魅力的な木造住宅**です。

信州健康ゼロエネ住宅のイメージ

日射や風のコントロール

- ・計算された庇
- ・日射熱の蓄熱の工夫
- ・高低差等を利用した通風

再生可能エネルギーの活用

- ・太陽光の発電、給湯利用
- ・木質バイオマスの暖房、給湯利用
- ・エネルギーの自給自足

高い断熱性能

- ・高い断熱性能を有する外皮
- ・樹脂や木の断熱サッシ、トリプルガラスの採用

森林資源の利用

- ・県産材の利用
- ・木質バイオマスの利用

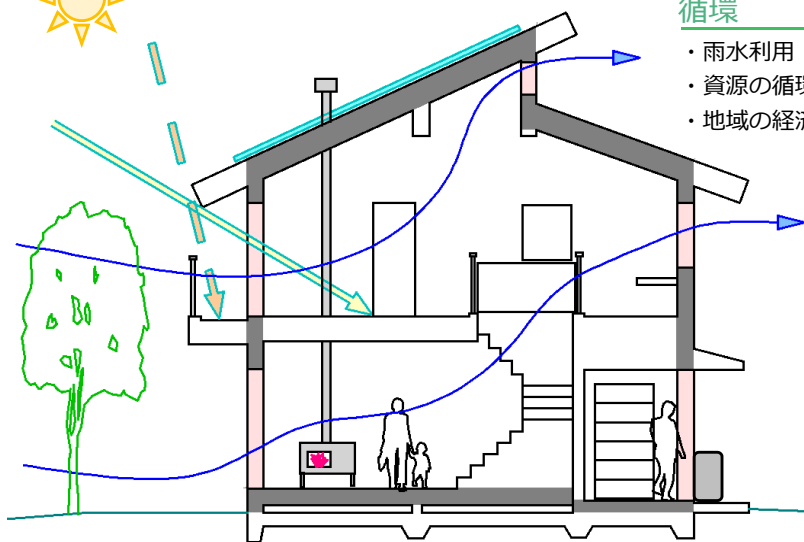
健康の増進

- ・健康寿命を延伸
- ・バリアフリー



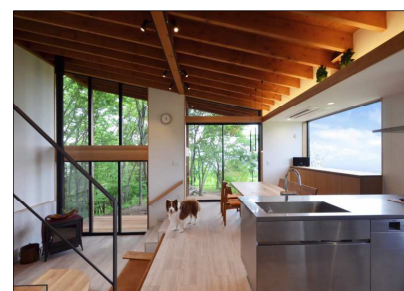
優れた断熱性能

四季を通して快適で健康的な住まい



循環

- ・雨水利用
- ・資源の循環利用
- ・地域の経済循環



恵まれた森林資源

木の温もりの住まい
木質バイオマスの活用



恵まれた自然

五感で感じる
住み心地の良い住まい

高効率給湯設備

- ・ヒートポンプ式給湯器
- ・潜熱回収型給湯器 等

高効率機器等

- ・HEMS (※) でエネルギー見える化
- ・LED照明
- ・高効率家電

伝統技能の活用

- ・左官壁、瓦、建具、畳

外構・景観

- ・南側の落葉樹の植栽等
- ・生態環境の保全と再生
- ・街並みや景観との調和

災害に対する強靭性

- ・ハザードエリアの回避
- ・蓄電池の設置
- ・高い耐震性能

その他

- ・更新の容易性
- ・メンテナンス記録の保存 等



恵まれた日照

エネルギー自給で
家計にやさしい住まい

※HEMS (ヘムス)

Home Energy Management Systemの略

電力使用量の見える化や蓄電池等の機器の制御など効率的なI社への管理・制御を行うためのシステム

信州健康ゼロエネ住宅の
設計・施工手法の詳細は
右のQRコードからご覧ください。



信州健康ゼロエネ住宅のメリット



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

メリットその1

エネルギーをあまり使わず **光熱費が安い!**



■ 光熱費の節減

断熱性能の向上、適切な気密施工等により、暖冷房にエネルギーをあまり使わないので **光熱費が安く** なります。

また、高断熱化等により建築費用（初期費用）は高くなりますが、長く住み続けることを考えると、**光熱費の削減分で回収** でき、**トータルでも安く** なります。

断熱レベル	年間暖冷房費※
概ね 築30年 以上 (昭和55基準)	24.3万円
概ね 築20年 以上 (平成4基準)	19.8万円
県最低基準	11.3万円

年間
約13万円
もお得!!

※試算条件等は次項目と同様とし、光熱費のうち「年間暖冷房費」のみ抽出

■ 初期費用の回収

断熱性能の向上等をした場合、建設費用（初期費用）は高くなりますが、全額借入金とした場合の住宅ローン（初期費用）に光熱費（ランニングコスト）を合わせて毎月の支払にならると、試算※では、**信州健康ゼロエネ住宅**（最低基準 又は 最低基準+太陽光3kW）は、**省エネ基準の住宅よりも**月々の支払も安くなり「**お得**」になります。

	国省エネ基準	県最低基準	最低+太陽光3kW
住宅ローン (建設費用(初期費用))	73,000円/月 (2,310万円)	75,000円/月 (2,372万円)	78,000円/月 (2,455万円)
光熱費	27,200円/月	23,300円/月	17,000円/月
支出計	100,200円/月	98,300円/月	95,000円/月

※試算条件等

《建築地等条件》

- ・ 建築地等：長野市（省エネ地域区分4地域、年間日射地域区分A4）、木造2階建 109.31m²（約33坪）
- ・ 光熱費：年間の暖冷房、給湯、換気、照明及び家電製品並びに太陽光発電の自家消費分及び売電分に係る費用
（【省17基準】暖冷房：エアコン、給湯：ガス従来型給湯器、換気：壁掛式第三種換気、照明：LED）
（【最低基準】暖冷房：エアコン、給湯：ヒートポンプ式給湯器、換気：壁掛式第三種換気、照明：LED）

《金額等条件》

- ・ 電気代等：電気28.46円/kWh、ガス135.09円/m³、灯油113円/ℓ、売電17円/kWh
- ・ 省エネ基準適合住宅初期費用（初期費用には土地代は含まない）：70万円/坪、太陽光発電設備の設置費用：「275,000円/kWh」と仮定
- ・ ローン条件：フラット35（35年借入・初期費用全額）、金利1.69%（2022.3の最頻金利）

《試算で使用了ツール》

- ・ 光熱費試算：「自立循環型住宅への省エネルギー効果の推計プログラム」一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構
- ・ ローン試算：「ローンシミュレーション」（独立行政法人住宅金融支援機構）



住宅ローンシミュレーションは
（住宅金融支援機構ホームページ）
左のQRコードからご覧ください。

上記シミュレーションの詳細な
条件等については、
右のQRコードからご覧ください。





メリットその2

断熱性能向上等により

健康で快適！



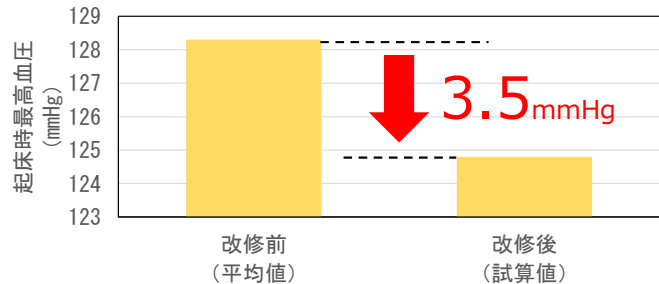
■ 血圧と室温

室内温度と居住者の健康には密接な関連性があることが、WHO（世界保健機関）の報告書や国の調査等で、明らかにされつつあります。

例えば国の調査によれば、断熱リフォームによる室温の上昇で、リフォーム前に比べ居住者の起床時の**最高血圧が有意※に低下**するとの結果が示されています。

※有意：「確率的に偶然とは考えにくく、意味があると考えられる」ことを指す統計用語

県基準	最低室温※
最低	概ね10℃を下回らない
推奨	概ね13℃を下回らない
先導	概ね15℃を下回らない

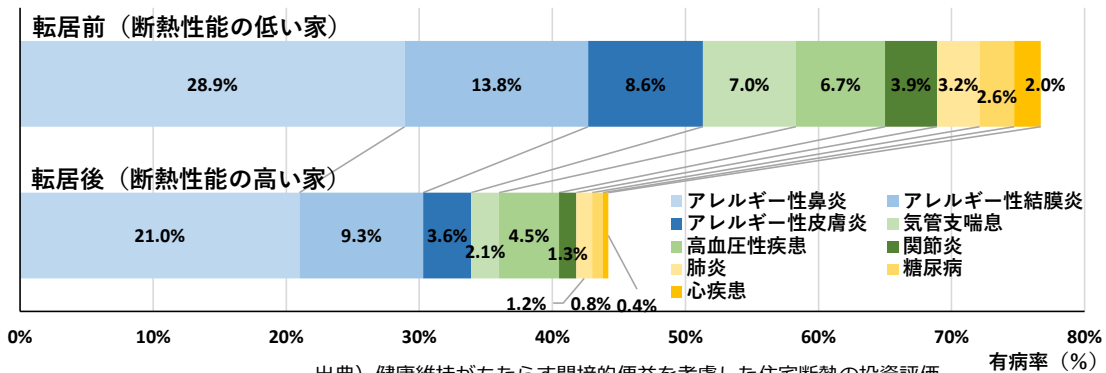


※暖房設定温度を20℃とし、23時に暖房を停止した場合の厳冬期における翌朝の室温

出典) 国土交通省資料 (「断熱改修等による居住者の健康への影響調査中間報告 (第3回))

■ アレルギーの抑制

断熱性能の高い家への転居後に、アレルギー性鼻炎などの各種症状の**有病率が低下**したアンケート調査結果が示されています。断熱性能の高い家では、結露によるカビやダニが発生しにくいことも要因の1つとされています。



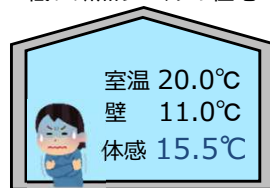
出典) 健康維持がもたらす間接的便益を考慮した住宅断熱の投資評価 日本建築学会環境系論文集第76巻 第666号 p735-740 伊香賀ら

■ 快適性の向上

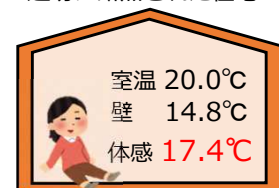
断熱性能を高めると、冬の暖房時の壁の表面温度が高くなるので、同じ室温でも**体感温度※が高く**なり、寒さを感じにくくなります。また、室温と壁の表面温度の差が小さくなるので結露が起きにくくなります。

※体感温度 = (室内温度 + 壁等の表面温度) ÷ 2

低い断熱レベルの住宅



適切に断熱された住宅



室温は同じでも**体感は2℃も高い**

出典) 「HEAT20設計ガイドブック」(2015年5月 設計ガイドブック作成WG) を基に作成

室温と健康との関連性等について得られつつある知見の詳細は右のQRコードからご覧ください。
(国土交通省ホームページ)





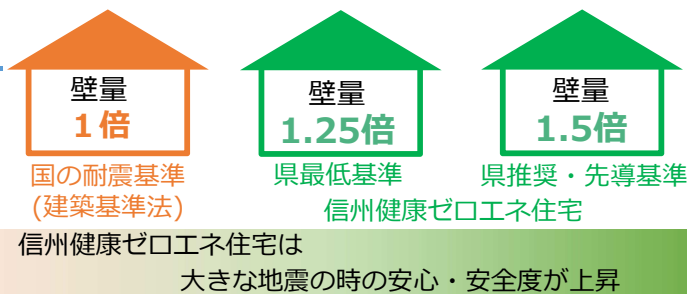
メリットその3

耐震性能向上等 災害にもしなやか！



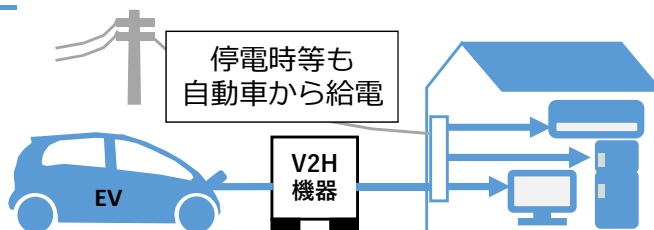
■ 耐震性能の強化

信州健康ゼロエネ住宅は、国の基準（建築基準法）よりも**高い耐震性能**の基準を設定することで、災害に強く、丈夫で長く住み続けられる住宅を目指しています。



■ 災害時等への備え

太陽光発電設備と連結した据置型や電気自動車などの蓄電池の設置により、災害や停電時における、普段どおりの生活につながります。



メリットその4

自然やつながりを感じて豊かな暮らしを実現！



信州健康ゼロエネ住宅は、信州の自然に抱かれ、木の温もりを感じながら、地域とのつながりを育み、豊かな暮らしを実現します。



県産木材の温もり



地域とのつながり



やわらかな自然光



風景との調和



火のある暮らし



伝統技能の活用

写真）“信州の木”建築賞 優秀作品（左上、左下、右下）
おぶせオープンガーデン<<https://obuse-opengarden.com/garden>>（中上）



～信州をすみこなす～
信州の多様な住まい方を
紹介した県ホームページは
左のQRコードからご覧ください。

おぶせオープンガーデンを
紹介した小布施町ホームページは
右のQRコードからご覧ください。



リフォームによる断熱・耐震

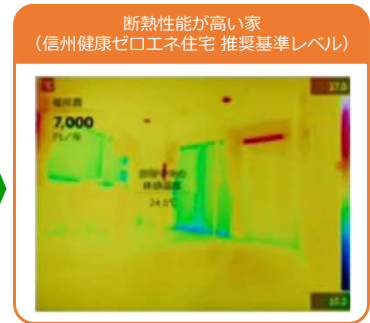
リフォームにより、既存の住宅を信州健康ゼロエネ住宅とすることもできます。
改修後の断熱性能及び耐震性能については次の基準に適合するよう努めてください。

項目	基準
断熱性能	新築の断熱性能における最低基準に適合
耐震性能	建築基準法に規定する壁量を確保 (ただし、太陽光発電設備を設置した場合の重量を考慮のこと。)

■断熱リフォーム

断熱リフォームにより外気温の影響を受けにくくなり、**室内の壁・床・天井等の温度**が改修前に比べて**高**くなります。

建築年代の比較的新しいものは、窓などの開口部を断熱性能の高いものに取り替えるなど、比較的低予算で十分な断熱性能が得られる場合もあります。



出典) LIXIL株式会社ホームページ

■耐震リフォーム

断熱リフォームだけでなく、**耐震性能にも着目**して、**快適で安心・安全な住宅**にしましょう。

断熱材の設置・施工状況、耐震性能、その他劣化状況等によって必要な工事や費用が大きく異なります。リフォームする前に、断熱改修等の工事に精通した建築士などの**専門家に現状調査と事前検討**を依頼することが重要です。

①現状調査

耐震性、劣化状況、断熱材の施工状況等を調査します。
こんな不具合が見つかることも……



屋根のサビ



耐震金具がない



外壁のクラック



床下断熱材の剥離



基礎破損



シロアリ

②改修方法の検討

建替え



全面改修



部分リフォーム



浴室断熱

写真提供) 株式会社Reborn

健康に暮らすためのあたたか住まいガイドは
右のQRコードからご覧ください。
(一財) ベターリビングホームページ)



助成制度の紹介

信州健康ゼロエネ住宅の建築を促進するため、県では新築・リフォーム費用の一部を助成しています。助成制度を活用して、快適で健康的な暮らしを実現しましょう！



《基準等》

- 断熱性能強化及び県産木材利用については、それぞれ求める性能に応じて**3つの基準**を設定
 - 推奨又は先導基準に適合する場合は、強化又は利用量に応じて助成金額を加算
- 「**最低基準**」…2030年を見据え、ゼロエネルギー達成に向けて最低限確保すべき基準
 「**推奨基準**」…環境負荷の低減と快適性を高次元で達成する基準
 「**先導基準**」…環境負荷を極限まで抑えるチャレンジ基準

■新築

助 成 額			
基本	50万円（40万円※1）		
最大 （基本+加算）	150万円（80万円※1）		
要 件			
基本	○次に適合していること（主な要件のみ抜粋。詳細は下記QRコードからご覧ください。） <ul style="list-style-type: none"> ・県内に主たる事務所を置く者が施工する1戸建ての木造在来工法の住宅 ・省エネ性能、耐震性能について最低基準に適合 ・県産木材を3m³以上（又は仕上材として30m²）使用 ・太陽光発電設備又は木質バイオマス利用暖房設備を設置（ほか） 		
加算	断熱性能強化（外皮性能）	推奨基準に適合	+20万円
		先導基準に適合	+40万円
	県産木材利用	推奨基準（木材使用量60%相当）に適合	+10万円
		先導基準（木材使用量80%相当）に適合	+20万円
	伝統技能活用（左官壁、瓦、建具、畳のうちいずれか2つ）		+10万円
	太陽熱利用設備又は蓄電池設置		+10万円
県が定めるゼロエネルギー※2を達成		+20万円	

- ※1 太陽光発電設備等の設置について、地域・地区の状況により困難な場合等は設置を要しないが、その場合、基本及び最大助成額は（）内に記載の金額となる。
 ※2 太陽光発電設備による創エネルギーのほか、木質バイオマス暖房設備による暖房エネルギーの低減を考慮してエネルギー計算をした結果、正味ゼロエネルギーを達成することをいう。

■リフォーム

区 分		大規模改修	部分改修
必須要件		県内に所在する、申請者自ら居住又は所有する住宅で行う リフォーム工事であって、次に適合すること	
		省エネ性能が最低基準に適合	次のいずれかの改修 <ul style="list-style-type: none"> ・浴室及び脱衣室又は寝室の断熱改修 ・全ての外窓改修
助成額	基本	対象工事の20%	
	最大	100万円	50万円
助成対象となる工事		断熱改修、再生可能エネルギー設備導入（太陽光・蓄電池除く）、 バリアフリー、県産木材利用、伝統技能活用	

